

親潮

北水同窓会誌

2019
314

No.2

第314号
令和元年度 第2号

OYASHIO

北水同窓会のEメールアドレスが変更になりました | ホームページをリニューアルしました
hokusualumni@gmail.com | <http://hokusui.net> 



特集 北水の今

新任若手教員の紹介

総会案内 会員の受賞 おしょろ丸グッズの販売 支部・クラス会報告ほか

親潮

第314号
令和元年度 第2号
OYASHIO

CONTENTS

第100回(2020年)北水同窓会定期総会 開催案内 3

特集 北水の今

新任若手教員の紹介 4

会員の受賞 10

細見典男(昭48食)・加藤秀弘(昭51ゾ)・柳川延之(昭52ギ)

北海道大学ホームカミングデー 2019 11

水産学部卒業生・在校生のつどい

丸山 英男(平元化)

おしょろ丸グッズの販売 12

寄稿 13

高橋 豊美(昭44工)・東藤 孝(平2ゾ)

支部会・クラス会報告 16

昭和36年水産学部卒業 第25回同期会「臥洋会」始末

昭和44年卒業増殖学科の集い 卒後五十年

北水同窓会茨城県支部総会を開催

昭和46(1971)年水産学部 入学同期会in新潟

令和元年 北水同窓会長崎支部総会

北水会庄内支部より

北大進学相談会inおおさか 後の歓迎懇親会の報告

北水同窓会石川県支部懇談会開催

北水同窓会富山県支部総会

北水同窓会広島県支部会'18 報告

北水同窓会宮城県支部令和元年度総会開催

学位取得者 23

会員の異動 23

会員死亡通知 24

親潮投稿規定・編集後記 26

親潮314 表紙絵画の説明

左上／おしょろ丸4世、作者:T. Tachibana、収蔵:北海道大学総合博物館分館 水産科学館

左下／おしょろ丸2世、作者:不明、収蔵:北海道大学総合博物館分館 水産科学館

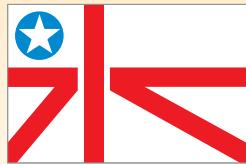
右上／おしょろ丸5世、作者:高橋 豊美、展示:北海道大学水産学部管理研究棟1Fロビー

右下／おしょろ丸4世、作者:元田 茂、展示:北海道大学水産学部管理研究棟1Fロビー

*写真撮影:大槻真友子



第100回(2020年) 北水同窓会 定期総会



[函館でお待ちしております。バスツアーも企画しております。]

開催案内

春、心地良い季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。
今年は北水同窓会定期総会を函館にて下記の通り開催いたします。
新卒者の参加も大歓迎です。(この会は新人歓迎会を兼ねています)

日 時 ● 2020年5月30日(土)

会 場 ● ホテル函館ロイヤル

函館市大森町16番9号

受 付 ● 14:30~

講 演 会 ● 15:00~16:00

水産学部学部長・研究院長・北水同窓会名誉会長

木村暢夫 様(昭55ギ)

北方生物圏フィールド科学センター 教授

山羽悦郎 様(昭55ゾ)

本部総会・支部大会 ● 16:00~17:00

懇 親 会 ● 17:00~19:00

会 費 7,000円

会費は当日受付させていただきます。

バスツアー ● 09:00発 先着50名

予定経路:函館駅→五稜郭(乗車)→臼尻実験場→
函館市縄文文化交流センター→水産学部→
おしょろ丸→総会会場(15:00着)

参加費:2,000円(昼食、入場料等含む)



アクセス

JR函館駅から徒歩8分。
市電松風町電停より徒歩3分。

連絡先:北水同窓会 本部事務局

参加ご希望の方は、お名前、卒業年・学科、連絡先住所、Fax・電話番号、メールアドレス、バスツアーへの参加希望]を5月7日までに北水同窓会本部事務局までFaxもしくはEメールでご連絡願います。

〒041-8611 函館市港町3丁目1番1号 北海道大学水産学部内

電話(0138)42-3681 FAX(0138)42-3681 メールアドレス hokusualumni@gmail.com

FAXまたは郵送にてお申し込みの場合は、このページをコピーして送信用紙としてお使いください。

-----キリトリ線----- ➤ ➤ -----キリトリ線-----

〈北水同窓会本部事務局あて〉FAX 0138-42-3681

第100回 北水同窓会 定期総会 参加申込書 (1名毎に記載願います)

下記に記入し、郵送、FAXまたは同じ内容をE-mailにてご連絡願います

ふりがな	卒業年次	学科
お名前	明・大・昭・平 年	
ご住所 〒(-)		
電話 ()	FAX ()	
E-mail:		
参加申込欄 右記の□に✓をお願いします	<input type="checkbox"/> 北水同窓会定期総会	<input type="checkbox"/> 懇親会
バスツアー参加申込欄 右記の□に✓をお願いします	<input type="checkbox"/> 参加する	<input type="checkbox"/> 参加しない

新任若手教員の紹介

石原 千晶(平22海生) 海洋生物学講座 助教

Q1. 着任時期と前職は?

2016年10月1日です。現在の研究室で学位を取得した後に、日本学術振興会特別研究員PDとして、和歌山大学教育学部で1年半研究に従事しておりました。



Q2. 主な研究テーマは?

卒業研究から一貫して、メスをめぐるオス間闘争を中心としたヤドカリの行動生態学的な研究をしており、現在はオスの闘争行動を決定する要因の解明に取り組んでいます。例えば、ヤドカリのオスが人生ならぬヤドカリ生(?)の中でたった一度しかオス間闘争を行わない、とは到底考えられないので、以前の闘争経験が次の行動に影響する可能性があります。実際に、既に1度敗北したオスが次の闘争相手にどのように対処するのかを詳細に観察したところ、次の相手が過去に負けた相手かそうではないかを判断し、行動を変えていることが分かりました。



Q3. 今後の展望は?

引き続き、ヤドカリ研究を続けていきたいです。オスは闘争中に大きなハサミを武器として用いており、ハサミへの投資配分も学生時代から続けている好きなテーマなので、こちらも再開したいです。一方で、せっかく水産学部に戻ることができたので、何かしら水産業に貢献できる研究も模索していくけれどと考えています。

Q4. 函館の印象&休日の過ごし方は?

1年半しか離れていないなかったのですが、和歌山が暖かかったこともあります、改めて雪かきの大変さと雪道運転の恐怖を思い出しました。休日は基本的に1歳半の娘のお世話で終わっていますが、もう少し大きくなったら一緒に遠出をしたいと思います。

Q5. 今はまっていることは?

学生時代から料理が好きなので、はまっている、かは分かりませんが、自炊でしょうか。大したものは作れませんが、よい気分転換になります。

宇治 利樹(平18生) 育種生物学講座 助教



Q1. 着任時期と前職は?

2015年10月。以前は、JSPSの特別研究員として熊本大学沿岸域環境科学教育センターにて勤務していました。

Q2. 主な研究テーマは?

海藻、特に海苔の原料として水産上重要なアマノリ類を研究対象として、それらの一生すなわち生活史の制御に関する研究を行っています。最近エチレンの前駆物質(エチレンが合成される一つ前の段階の化合物でアミノ酸の1種になります)がアマノリの有性生殖を制御していることを明らかにしつつあります。エチレンは植物ホルモンの1種で、果実の成熟などを制御していることが古くから知られています(例えば、リンゴと一緒にキウイフルーツを置いておくと、早く熟したりするのはエチレンの作用のためです)。アマノリにおいてはどうやらエチレンではなく、その前駆物質がオスやメスといった生殖器官の形成を促進する働きがあることが分かってきました。

Q3. 今後の展望は?

海藻では植物ホルモンの機能はほとんど分かっておらず、エチレンの前駆物質に関しては全く注目されてこなかったので、その機能はアマノリ以外では不明です。今後は、エチレンの前駆物質がアマノリにお



いてどのような役割があるかをさらに調べていくと共に、それ以外の海藻におけるエチレンの前駆物質の働きについても研究していきたいと考えています。このような研究を通して、陸上の植物とは異なる海藻独自の生存戦略を明らかにし、海藻の持続的生産を考えるヒントを多く見つけていきたいと思います。

Q4. 函館の印象&休日の過ごし方は？

やはり海産物は美味しいと感じます。学生時代は研究室に籠りっきりで運動をほとんどしていなかったので、最近はなるべく身体を動かすために近所のジムに行くようにしています。

Q5. 今はまっていることは？

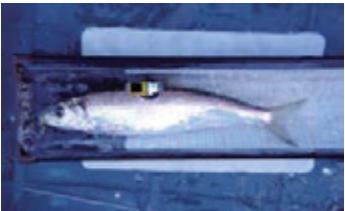
歴史をきちんと勉強したいとふと思い、特に今は日本史について少しずつ学ぼうとしています。最近、司馬遼太郎の「街道をゆく」の全巻を中古本として安く手に入れたので、それを読むのが楽しみです。

富安 信(平25海資) 海洋計測学講座 助教



Q1. 着任時期と前職は？

2019年4月。北海道大学大学院環境科学院で学位取得後、同大学北方生物圏フィールド科学センターで日本学術振興会特別研究員PDとして勤務していました。



超音波発信機を装着したニシン。漁業現場と重複する産卵場所や回遊の特徴を調べました。

Q2. おもな研究テーマは？

漁業現場での水産資源の分布や行動の変化、またそれらを獲るためにの漁具の運動を解析しています。主には水中音響手法(写真)やバイオロギング手法を専門としていますが、問題に応じてさまざまな計測技術を用いています。調査対象の生物もこれまで魚類や藻類をはじめ、最近では養殖中の二枚

貝にも手を広げています。

Q3. 今後の展望は？

日本の漁業としては、かつて獲れるだけ獲っていた時代から選択的に管理して獲ることが必要な時代になっています。そのためには、漁業現場での生物や環境、操業の情報が不可欠となります。われわれ研究者の調査できる現場は全体のごくわずかなので、毎日海に出ている漁師さん達にこうしたデータを集めてもう仕組みを作ることが何より必要だと考えています。生き物の研究も漁具の研究も、そうした仕組み作りや地域での施策の決定に先駆けとなる研究ができればと思っています。

ただ、もともと生き物や海が好きで研究を始めたので、多くの生き物や不思議な現象を研究してみたいというのも大きな展望の一つです。

Q4. 函館の印象&休日の過ごし方は？

学生時代を含めるとすでに9年も函館で過ごしているので、もはや第2の故郷といった印象です。ほどよく人もお店もあって、ちょうど良いのが函館の魅力だと思います。

休日は家族でぐだぐだと買い物や外食に出ることが多いですが、趣味のマラソンやNBA観戦も楽しんでいます。

Q5. 今はまっていることは？

八村塁選手、渡邊雄太選手の応援

野村 大樹(特別) 海洋環境科学講座 助教

Q1. 着任時期と前職は？

2015年10月、北大低温研非常勤研究員

Q2. おもな研究テーマは？

極域における物質循環研究。北極、南極、オホーツク海を対象にして、海水の生成と融解によって起きる物質循環過程に注目しております。オホーツク海では、サロマ湖を定点ステーションとして利用し、海外の研究者と協力し、海水サンプルの融かし方など国際基準となりうる観測手法の開発を実施しております。また、北極では、現在、MOSAiCというドイツ砕氷船による通年長期観測が実施中です。その航海に





6月から参加する予定です。南極では毎年、日本観測地域観測隊によって採取された海水コアサンプルの処理、分析を実施しております。海水内部の栄養塩、二酸化炭素、その他の気体成分の分析を実施し、生成および融解時に海水から放出・吸収される気体成分の定量評価を行なっております。極域の海洋は大気中CO₂の吸収において重要な役割を果たしているので、海面に存在する海水の存在が、気体交換過程にどのような影響を与えるのかを調べております。

Q3. 今後の展望は？

学生と一緒に極域に行って観測を実施したいです。特に海水は現在地球温暖化によって急速に減っており、薄くなつてなかなか氷の上に乗って観測がしづらくなっています。今しかできない重要な研究なので、できるうちに色々な人と研究を進めたいと思います。

Q4. 函館の印象＆休日の過ごし方は？

少々寂れている。人が多すぎず良い。休日は家族で郊外のスーパー・マーケット（昭和タウン）に行くことが多いです。ツタヤにも行っていたのですが飽きてしまいました。長期休暇の際は、妻の実家に家族で行っています。

Q5. 今はまっていることは？

これまで名前だけの合気道部の顧問でしたが、最近、息子と一緒に合気道をはじめました。函館アリーナや函館ラザールでの稽古にも参加しております。少し痩せました。

福田 美亮(平18シ) 生物資源化学講座 特任助教
附属練習船おしょろ丸
亜寒帯海域における洋上教育のための共同利用拠点

Q1. 着任時期と前職は？

2013年3月に北海道大学大学院水産科学院博士後期課程修了後、茨城県神栖市の水産工学研究所に研究等支援職員として勤務し、水産音響関係の研究をしてきました。2015年12



月からは静岡県静岡市の国際水産資源研究所に研究等支援職員として勤務し、太平洋クロマグロの資源評価にかかる仕事をしてきました。現職には、2018年9月に着任しました。

Q2. 主な研究テーマは？

着任後は、2019年8月出版の「水産科学海洋環境科学実習」のとりまとめや、他大学の学生がおしょろ丸に乗船する共同利用実習で、学生のサポートとして乗船実習に参加してきました。大学によっては、1年生や2年生が乗船してきます。初めて実習船に乗り、期待と不安に胸を躍らせる学生たちが船酔いで次々と倒れていく様を毎回見ています。

大学院から水産工学研究所時代には、主に動物プランクトンの音響特性について研究してきました。音響手法を用いた生物量調査は、魚類だけでなく、より小型の動物プランクトンにも広がってきています。計量魚群探知機を用いて生物量を推定する場合、対象生物1個体がどの程度音を反射するかという情報が必要です。この音の反射量をターゲットストレンジス(TS)といい、水産音響では重要な値です。動物プランクトンのTSは、これまで実測が困難であるため理論モデルによ

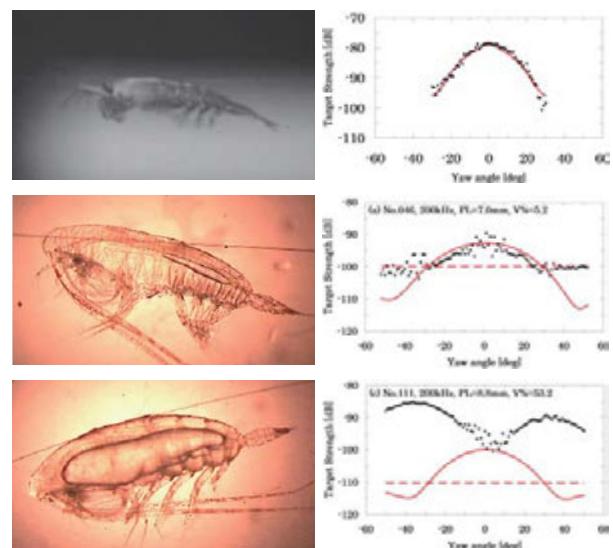


図1.動物プランクトンのTS測定結果
(a)オキアミ類、(b)カイアシ類(油球なし)、(c)カイアシ類(油球あり)

り計算された値が使用されてきましたが、近年では実測が可能になってきました。私の研究では、北海道周辺に生息するオキアミ類やカイアシ類などを対象に、TSの実測を行い、理論モデルの計算結果と比較して理論モデルの妥当性の検証を行ってきました。その結果、従来の理論モデルはオキアミ類(図1(a))や油球を持つカイアシ類(図1(b))では実測値と一致するのに対して、油球を持つカイアシ類(図1(c))では実測値と一致しないことがわかつてきました。

Q3. 今後の展望は？

北海道噴火湾周辺では春先に先述の油球を持つカイアシ類が多く見られます。この油球を持つカイアシ類でも使用可能な理論モデルを開発できれば、より正確な生物量推定が可能になります。また、近年使用され始めている広帯域計量魚群探知機と組み合わせることで、音響手法を用いた種判別などさらに有用な情報が得られるかもしれません。

Q4. 函館の印象＆休日の過ごし方は？

函館には学生の頃にも8年ほど住んでいました。細かいところは変わっていますが、住み慣れた街に5年ぶりに帰ってきた気分です。もともとドライブが好きなので、休日には渡島半島を走り回っています。長万部町や江差町にラーメンを食べに行ったり、子供のころに住んでいた大成町(現、せたな町)に観光に行ったり、新しくなった臼尻の実験場を見に行ったりしています。最近では、北海道の道の駅スタンプラリー2周目にチャレンジしようか考え中です。

Q5. 今はまっていることは？

最近、アベニーパファー(小型のフグ)とミナミヌマエビを飼い始めました。アベニーパファーは、餌をあげると喜んで食べに来るので、やりがいがあります。ミナミヌマエビは実験用に飼い始めたのですが、よく見ていると壁のコケなどを必死に食べていたりして、地味ですが見ていて飽きないです。

美野さやか(平22増生) 海洋生物工学講座 助教

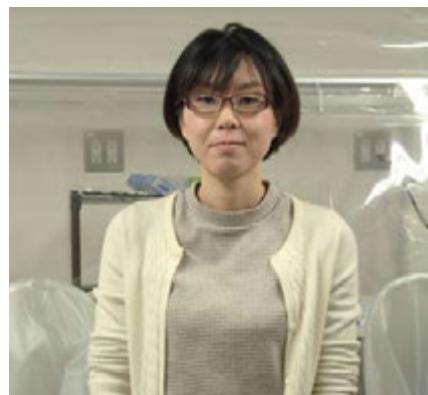
Q1. 着任時期と前職は？

2015年4月、北大の水産科学院を修了し、現職に就きました。

Q2. 主な研究テーマは？

深海底熱水活動域に生息する微生物の生物地理、すなわち分布様式や、その分布が形成された過程を理解することを目的として研究を進めています。生物の分布は、その生物種の生態や進化を理解する上で必要不可欠な情報です。例えば、現在日本ではヒグマという種は北海道にのみ生息しますが、これは過去の気候変化などによって、本州ヒグマが絶滅した結果といわれています。微生物は、形状が類似しているため見

た目で種を判別できず、ゲノムも柔軟なため、種の定義が難しいのですが、熱水孔微生物の種レベルでの分布様式を理解することを目指し、微生物の分離培養や、ゲノム情報の解析を進めています。また、培養ができず正体がよくわかつていない微生物の獲得も研究テーマのひとつです。



Q3. 今後の展望は？

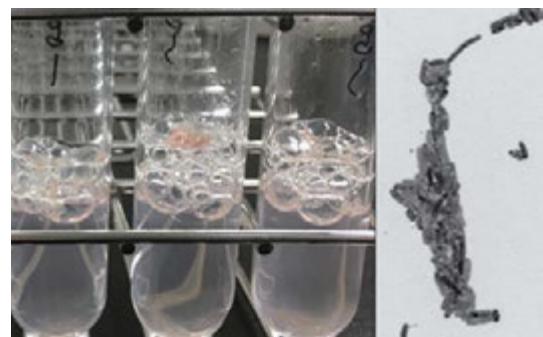
最終的には、人の大陸移動のように、熱水孔微生物が世界各地の熱水活動域へ広がったグレートジャーニーを解き明かしたいです。また、充実しつつあるゲノム情報をもとに、私の好きな系統群の分類体系を構築していきたいと思っています。

Q4. 函館の印象＆休日の過ごし方は？

函館生活も11年になりますが、程よく落ち着きのあるこのまちが気に入っています。自然が近く、釣りやキャンプ、登山を楽しむには絶好の場所ですね。今は子供ファーストの生活で、休日は食事の作り置きや掃除など、家事全般をなんとかこなしています。息が詰まりそうなときは、公園へ行って親子でリフレッシュします。

Q5. 今はまっていることは？

ママらざるを得ないものかもしれません、子供の食事作りでしょうか…好き嫌いの主張やその時の気分にあわせて、食材のサイズや硬さ、味付け、組み合わせを変えたりして、喜んで食べてくれるものを試行錯誤することが楽しいです。



獲得した微生物の中には温室効果ガスN₂OをN₂に無害化するものもいる

卒業生登録システム《@Frontier》にご登録ください。



hokudai.ac.jpドメインのメールアドレスは、北大卒業生の証。
PC・ケータイ・スマートフォンから、メールをはじめとする各種サービスが利用可能です。

北大を卒業しても、

@Frontierで他の卒業生や北大とつながりましょう!

利用資格は北大卒業生。
利用料は無料。

生涯にわたり
メールサービスが利用可能!

オンライン上で
会員検索ができる!

「私書箱」機能も利用可能!

公式サイトから登録可能です

<http://www.hokudai.ac.jp/frontier/>

スマートフォンからも
アクセス可能!



公式サイトへアクセスし、新規申し込みのボタンをクリックします。



利用規約をご覧の上、ご自分のメールアドレスを送付後、送られてくるURLにアクセス。



登録申請フォームに必要事項を記入の上、データを送信していただきます。



本学で、データを確認後(※)、メールアドレスにIDとパスワードを送付いたします。



※1週間から10日程度要する場合がございます。

北大との絆をつなぐ一枚



UCカード株式会社
北海道大学カード



三井住友カード株式会社
北海道大学カード

申込み

UCカード専用ページから申込む

- UCカードサイト
- 新しくカードを作る
- UCカード一覧
- 北海道大学カード

[https://www2.uccard.co.jp/
card/listup/hokudai.html](https://www2.uccard.co.jp/card/listup/hokudai.html)

三井住友専用ページから申込む

- 三井住友カードサイト
- カードをつくる
- カード一覧
- 北海道大学カード

[https://www.smbc-card.com/
nyukai/affiliate/hokudai/index.jsp](https://www.smbc-card.com/nyukai/affiliate/hokudai/index.jsp)

北海道大学カードが北大生を支援する仕組み
北海道大学カードへの入会による取次手数料及びカード利用額に応じた提携手数料がカード発行元の北海道大学校友会エルムに還元され、これを「大生支援資金」として北海道大学に寄附し、「奨学金」、「留学支援金」、「課外活動への費用援助」等に役立ててもらうこととしています。



※UCカードのみ

北海道大学カード

本学卒業生、教職員又は在学生父母の方限定



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

お問い合わせ先

北海道大学総務企画部広報課
電話：011-706-2012
info@frontier.hokudai.ac.jp

北海道大学校友会エルム
電話：011-706-2101/2102
kouyukai@general.hokudai.ac.jp

卒業生の皆様へ

「北大みらい投資プログラム」への ご協力のお願い

このたび北海道大学では、より実践的なリーダーシップ教育を実施するため、

また研究者が世界に誇れる先端的研究を行う環境を整えるため、

北大フロンティア基金の中に「北大みらい投資プログラム」を創設しました。

皆様からのご寄附は、苦学生の修学、海外留学、特定の研究、部活・サークル活動など、皆様がご指定される使途に使用いたします。

後輩学生へのサポートとして、卒業生の皆様からのあたたかいご支援をいただきたく、心よりお願い申し上げます。



4つのプログラムメニュー

4つのメニューから、サポートしたい取り組みを指定してご寄附いただけます。



給付型奨学金

北大への進学や修学継続への意志が明確であるにもかかわらず、経済的理由により進学等を躊躇している学生に対し、返還の必要のない「給付型奨学金」を交付し、進学等をサポートします。

- 進学サポート奨学金
- 修学継続サポート奨学金



海外留学・インターンシップ等資金

明確な目標を持った優秀な学生の海外留学、研修の渡航費用等をサポートし、グローバル人材を育成します。

- 海外協定校等派遣・海外語学研修への支援
- 短期留学・研修・国際インターンシップへの支援 等



課外活動等支援資金

部活動・サークル活動や全学生が使用できる施設の整備など、課外活動の充実を図ります。

- 運動部・文化系サークル支援(個別指定可能)
- サークル会館、体育館、グラウンド整備への支援 等



使途指定資金

特定の学部や研究分野など、本学が実施する活動の中から、寄附者自身が使途を特定できるプログラムです。

- 特定の学部等への支援
- 特定の研究分野への支援 等

寄附方法



PCから

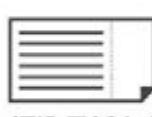
北大フロンティア基金HPにアクセスして下さい。
<https://www.hokudai.ac.jp/fund/mirai.html>

北大みらい投資 |

検索



スマホから



振込用紙から

振込通知書に必要事項を
ご記入のうえ、郵便局・銀行
の窓口でお振込み下さい。

継続寄附のご案内

クレジットカード決済、または口座振替により、継続寄附(毎月・年2回・年1回のいずれかの自動引き落とし)をご利用いただけます。お申込み後の内容変更や解約もインターネットで随时行えます。

お問い合わせ先

北大フロンティア基金事務室

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目 北海道大学事務局内

TEL 011-706-2017 FAX 011-706-2092

E-mail kikin@jimu.hokudai.ac.jp URL <https://www.hokudai.ac.jp/fund/>

会員の受賞

CONGRATULATIONS ON WINNING

大日本水産会 令和元年度 水産功績者として本会会員が表彰

一般社団法人大日本水産会では、
水産業の振興と発展に功績のあった方々を
水産功績者として表彰しており、
令和元年度功績者として以下3名の本会会員が
表彰されました。以下にお名前と主要な業績を
紹介させて戴きます。

細見典男(昭48食)

日本水産株取締役専務執行経営責任者として経営
に携わり、大幅な業績向上を達成した。また「変化に
対応し差別化できる独自の技術力を持つメーカー」を
目指し、養殖の高度化や医薬品原料の海外展開、食品
の機能性に焦点を当てた商品開発、事業の収益力
の向上に尽力した。

加藤秀弘(昭51ゾ)

(財)日本鯨類研究所および遠洋水産研究所において、大型鯨類の資源管理における中心的役割を担い、
首席研究者として国際捕鯨委員会に出席、分科会議長を務めた。また、商業捕鯨モラトリアム以降は、南極
海鯨類捕獲調査計画の策定、第一回調査航海団長を務めるなど、鯨類捕獲調査研究の推進に尽力した。さら
に、東京海洋大学教授として多くの学生の指導と、著作物・マスコミを通じた社会教育にも貢献した。

柳川延之(昭52ギ)

北海道機船漁業協同組合連合会 代表理事専務として、漁業構造改革総合推進事業(もうかる漁業)を活用し、5隻の改革型漁船による収益性改善のための実証事業に取り組み、地元沖合底曳網漁業の構造改革の推進に貢献した。

本誌編集部

食中毒検査なら信頼と実績の中山薬品商会へ 一検体@1,000円～承ります。

NAKAYAMA MEDICINES CO. LTD



株式会社 中山薬品商会

本 社 ☎040-0075 函館市万代町20番10号 PHONE (0138) 40-6275 · FAX40-3939
釧路営業所 ☎084-0903 釧路市昭和町2丁目15番地3 PHONE (0154) 52-4101 · FAX52-4103
札幌出張所 ☎065-0031 札幌市北3条東19丁目6番14号 PHONE (011) 299-5493 · FAX299-5493

<http://nakayamayakuhin.jp>

各種行事開催報告

北海道大学ホームカミングデー2019 水産学部卒業生・在校生の集い

丸山 英男(平元化)

令和元年9月28日(土)の北海道大学学術交流会館第一会議室において「北海道大学ホームカミングデー2019 水産学部卒業生の集い」が開催されました。今年は特別講演講師として水産学部卒で(株)きのとや代表取締役会長の長沼昭夫氏(昭47ギ)をお招きし、「夢多き人生」と題してご講演頂きました。

当日は現役学部学生や同窓生、教職員などおよそ70名の方々が聴講に訪れました。講演に先立ち木村研究院長、および、北水同窓会横山会長からの挨拶を頂きました。

これまでの講師の方はスライドを使用しながらの講演が多かったのですが、長沼氏はスライドを一切使わずにご講演されました。講演では長沼氏は「きのとや」を創業するまでに経験された養鶏業や飲食店店長時代、大手スーパーの食品部門での

お話や「きのとや」での様々なエピソード、今後の夢などを熱く語られ、大変興味深い内容の講演となりました。聴講者の約三分の一が在学生で、講演後の質疑応答では、参加した多くの学生たちが質問をし、長沼氏も熱心にお答えになっていた姿は印象的でした。

講演会終了後は、講演会終了後は、クラーク会館2階の「クラーク食堂」に会場を移し、長沼氏を囲み懇親会が執り行われました。懇親会には約30名の卒業生と約10名の在校生が参加しました。昨年よりは在校生の参加も多く、より活気に満ちた懇親会となりました。年代を超えて同窓であることの縁をかみしめ、参加者はお互いの近況や思い出話に花を咲かせました。和やかな雰囲気のなか盛況のうちに閉会となりました。



特別講師の長沼昭夫氏



質疑応答の様子



懇親会の様子



長沼氏の乾杯挨拶

「おしょろ丸カレー」販売開始！



「おしょろ丸カレー」パッケージ

このたび、水産学部附属練習船「おしょろ丸」の教育研究活動を世間にPRする手段のひとつとして、函館市を代表する老舗洋食店"（株）五島軒"との共同開発により、研究試料として採水している海洋大循環の深層水『海洋深層水』を使用した「おしょろ丸カレー」の販売を開始しました。

この「おしょろ丸カレー」は、水産学部発の北海道大学認定の商品であり、まろやかでコクのある深い味わいが楽しめる五島軒風キーマカレーに、海洋深層水を加えたオリジナルの逸品となっています。

現在は、北大インフォメーションセンター「エルムの森」、北大生協水産店・同中央店（北海道大学札幌キャンパス敷地内）、北海道大学関西同窓会（北大会館）、五島軒本店・直営ショップ・テナントショップ（イオン湯川店・イオン上磯店）、一部のセイコーマートで販売していますが、今後、大手スーパー等での販売も計画中です。

「おしょろ丸カレー」の売上げの一部は、水産学部の支援のために本学に寄附されますので、同窓生の皆様におかれましては、大いにカレーを召し上がってい



「エルムの森」販売風景

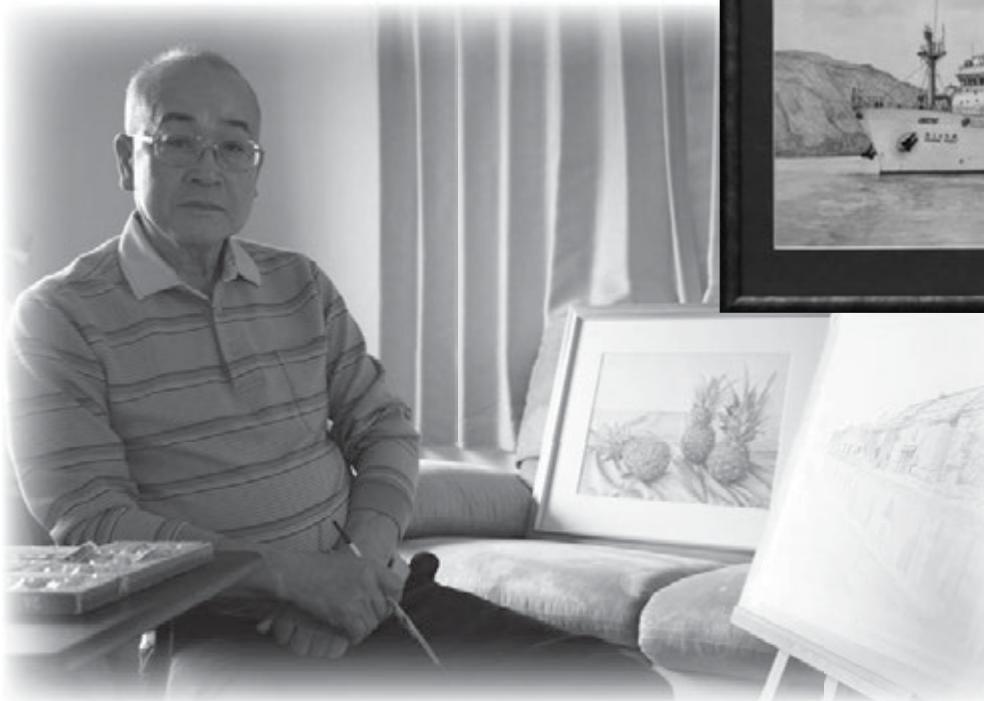
ただき、母校の支援に繋げていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

※水産学部HP <http://www2.fish.hokudai.ac.jp/>

寄稿

おしょろ丸V世の絵画

高橋 豊美(昭44エ)



北大を定年退職して5年目の秋、子供の頃から好きだった絵を勉強してみようと思い立ち、函館市内の絵画教室に通い始めました。教室では油彩と水彩の人気がほぼ半々でしたが、何年か前の誕生日に妻が買ってくれた透明水彩絵の具と絵筆があったので、とりあえず水彩画を習うことにしました。それ以来、絵を描くことが日課になりました(1日に3時間ほど)。

一昨年、北水同総会愛知県支部長の山口暁氏(昭44エ)より、「名古屋で開催される総会の準備中。お土産用としてポストカードを作りたいので、おしょろ丸V世の絵を描いてもらえないか」との一報が入りました。ここ数年、年賀状に自作の絵をプリントしており、それを見て思い付いたのでしょうか。正直なところ画歴まだ浅い小生には気が重かったのですが、他ならぬ同期の依頼であり引き受けました。

長い間、顕微鏡で細かいものを見てきたせいか、どうしても細部までしつこく描写してしまいます。そのためスケッチをベースにするのではなく、時には何度も足を運んで写真を撮り、それを基に描くことにしていました。学内の親しい先生方に適当な写真がないか問い合わせ

合わせたところ、沢山の画像が送られてきました。その中から、おしょろ丸船長の高木省吾氏(昭58ギ)からの一枚が特に大学の練習船としての気品と風格が感じられ、描くことにしました。宇野さん(現うしお丸一等機関士)がアラスカ州ダッチハーバー港外での実習中に撮影されたものです。

これまで描いてきた絵のサイズは4~10号でしたが、この際と思い、初めて20号(48×72cm)で描くことにしました。勿論、実際に船体を見に行き細部も確認した上で、制作にとりかかりました。そしていつものようにデッサンに1ヶ月、彩色に1ヶ月の2ヶ月でなんとか描き上げました。数か月後に市内の画廊で2回目(図々しく)の個展があり、メインの作品として展示しました。

学内におしょろ丸II世とIV世の絵はありますが、I世、III世、V世の絵がないそうです。山口氏に背中を押されて、今回描いたV世の絵を母校に寄贈することにしました。木村暢夫研究室長(昭55ギ)の格別のお取り計らいで、絵は管理研究棟のロビーに展示されています。元田茂先生によるIV世の油絵の大作と比べると、誠に稚拙でお恥ずかしい限りですが、何かの機会に観て頂ければ幸いです。今回お世話になりました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

今も続く伝統の 「やかん杯」

東藤 孝(平2ゾ)



やかん杯の優勝トロフィー(やかん)。各年の優勝チーム名を記したリボンが付いていて、1番古いものには「1980年 動物」とある。

旧水産増殖学科の同窓生におかれましては、「やかん杯」に懐かしい想いを抱かれる方も多いことと思います。やかん杯とは、水産増殖学科の全7講座(鹹水増殖学・水産植物学・水産動物学・生理学生態学・淡水増殖学・発生学遺伝学・浮遊生物学)に北洋研を加えて年一回開催されていた、講座対抗ソフトボール大会の名称です。この名称は、お酒を満たしたやかんを最下位チームが優勝チームに献上することに由来しま

す。私が学生のときに、満たされるお酒は北水生にお馴染みの「サッポロソフト(通称SS)」に決まっていると聞いた記憶があるのですが、当時の所属講座(淡水)での優勝経験が無いため、その真偽のほどは不明です。

2003年に私が助教授として北水に赴任した時に、このやかん杯は開催されていませんでした。当時は1度目の学部改組を経た後で、水産増殖学科は無くなり、その殆どの講座が生物生産学科(この学科もその後の改組で無くなりました)に所属していました。学部改組に伴ってやかん杯も無くなってしまったのかと思つて、学生に聞くと、やかん杯は学部改組後も継続していたが、この1-2年ほどは開催されておらず、今年(2003年)も開催される気配はないとのことでした。そこで私は、是非ともやかん杯を復活させたいと考え、生物生産学科会議での赴任の挨拶の際に、その旨を話しました。それから暫くして、それこそある日突然に各講座にやかん杯開催の通知が届きました。私自身はやかん杯復活に向けてまだ具体的なアクションは何も起こしていなかったので、驚きとともにその復活を喜びました。これは想像ですが、学科会議に出席されていた先生のどなたかが、何かの折に指導する学生さん達にやかん杯のことを伝えられて、その結果としてやかん杯が開催に向けて動き出したのではないかと



2019年の原研・優勝メンバー



思います。何はともあれ、やかん杯は、水産学部全体の規模のイベントとして2003年以降、毎年途切れることなく開催されています。

さて、2019年度のやかん杯は、18チームの参加を得て9月下旬頃より開催されました。参加チームが多いため、まずは3~4チームで5組に分かれて予選リーグが行われました。予選リーグは勝ち点制で、勝った場合は勝ち点3、引き分けでは勝ち点1、負けでは勝ち点0となります。各予選リーグから、勝ち点の高い上位2チームが決勝トーナメントに、逆に勝ち点の低い下位2チームが下位トーナメントに進みます。なお、3チームの組では最下位のみが下位トーナメントに参加となります。そして、決勝トーナメントを勝ち抜いたチームが優勝となり、下位トーナメントを負け抜いて(?)最下位となったチームから、優勝トロフィー(やかん:写真参照)とともにお酒が授与されます。何を隠そう、私の所属する海洋動物生殖生化学研究室(通称:原研)は今年度優勝し、昨年度の初優勝に引き続いて2連覇を達成しました。今年度はまだ最下位チームからのお酒を授与されていませんが、昨年度はSSではなくいかにも

美味しそうな焼酎(銘柄は失念しました)をいただきました。残念ながら私はその焼酎を賞味しておりませんが、勝利の美酒に酔いしれた学生達の話ではとても美味しかったとのことです。

このように伝統のやかん杯は、規模を拡げて今も続いている。ただ、私が学生の頃と比べて少し残念に思うことは、私以外の教員の参加が殆ど見られないことです。私が学生の頃には、殆どの講座から教員が参加されており、かつ熱心にプレーされていたものです。最近は、北水にも若手教員が増えており、教員の方々には是非ともやかん杯に参加して、北水全体のイベントとしてやかん杯を盛り上げていただきたいと思います。また最近は、研究室のコアタイム中に試合ができるないチームが増えてきて、早朝に試合が行われることが多くなりました。指導教員から、コアタイム中にソフトボールなどまかりならん、とでも言われているのかは分かりませんが、教員の参加が増えることにより、このような世知辛い状況も変わらぬのではないかと期待されます。私自身のことで恐縮ですが、私は、野球漫画の「あぶさん」よろしく、何とか還暦まではやかん杯に選手として出場したいと考えています。もちろん、学生達の足を引っ張るようなプレーしかできなくなれば潔く引退しなくてはなりませんが、まだもう少しは大丈夫だろうと自負しております。また、チームとしては来年も優勝して3連覇を達成すべく、今後も精進してまいいる所存です。



昭和36年水産学部卒業 第25回同期会「臥洋会」始末

佐藤 立治(昭36工)



前列左より

石川光男(セ)、齊藤 覚(ギ)、平野勇夫(ゾ)、山成克二(セ)
野村 勝(エ)、菊地孝司(セ)、菌田善一(エ)

2列目左より

佐藤立治(エ)、大野正浩(セ)、漆崎碩男(ゾ)、新田 実(セ)
深谷 敦(セ)、宇田川悦哉(セ)、角田靖雄(セ)

3列目左より

川口 武(ギ)、斎藤 毅(ギ)、鈴木賢一(セ)、浅倉健治(セ)

令和元年10月27日函館市湯の川海羊亭において
昭和36年水産学部卒業生による第25回同期会「臥洋会」が開催されました。

「臥洋会」の立ち上げは昭和56年9月で、それまでは遠・漁・製・増々々に会合がもたれていましたが、会結成以来4学科合体して北海道・本州各地において開催、今次まで25回を数えております(平成29年からは函館湯の川に開催地固定しております)。

津軽海峡の北にふるさとを持つもの、津軽海峡の南にふるさとを持つもの、個々の学生は昭和32年春、札幌キャンパスに集い37年秋には函館キャンパスに移行しました。

以来、58年の歳月が流れてましたが函館は何時の年も明るく暖かく卒業生を迎えてくれます

そして流れゆく歳月、160余名の仲間から50余名の旅立ちがありました。(合掌)

開宴／18時

1次会(乾杯・川口)… 2次会… 3次会

28日10時散会

*懇親会の話題としては次回以降の開催形態など。
各位の健康問題なども有り、少し時間を掛け検討。

昭和44年卒業増殖学科の集い 卒後五十年

笹山 雄一(昭44ゾ)

令和元年(2019年)10月23・24日
函館市大船町ひろめ荘にて



前列左より

跡部、笹山、笹山(花島)、山内、高越、沖野

後列左より

小城、梶、渡辺、敷中、下村、薦田、志賀

五十有余年前、我らは函館の夜の喧騒を裂いて「富貴名門の女性に恋するを純情の恋と誰が言うぞ」と謳(うた)った。さらに、人生とは何か、政(まつりごと)とはどうあるべきかの議論を戦わせ、学問の議論はあまり戦わせなかつたが、ともかく色々な思いを込めた青春がそこにあつた。それは今から半世紀も前に将来の夢を語り合つた濃密な時間であった。しかし、今宵の集まりは、その情熱が冷めていなかつたことを証明する一夜であった。

13人の仲間が集(つど)ったが会を開くにあたり、先に天へ身罷(みまか)った5名の盟友へ黙祷が捧(ささげ)げられた。美味(うま)し酒に舌が滑らかになつたところで皆が近況を報告하였다。跡部進氏は、他に重要な勤めを果たしながら、ライフワークとする畑作を希少な野菜に的を絞つて行うとのこと。一言居士は昔のままである。沖野洋之氏は、木版画にはまり人物像を得意とする。ご子息は札幌駅前の居酒屋「ちやこ」を経営し、芳醇な酒と地元の料理を出すことを編集子は実際に行って確かめている。小城春雄氏は、引き続き函館大学において二つの科目の講義をしながら、多読を自分に課しており、その量たるや驚嘆に値

する。ウォーキングディクショナリである。梶敏氏は、昔覚えたギター演奏を友人とバンドを組みボランティアで訪問演奏することもあるという。真面目な遊び人である。薫田道雄氏は、孫達の成長を楽しむ好々爺ぶりを装(よそお)うが、自分自身は携帯電話を持たずメールもしないという。IT社会への反骨のカリスマか。機を得た議事進行の掛け声は楽しい。笠山雄一は、同級の妻(旧姓花島五月)が大病を患ったため、二人三脚で暮らしながら『古典と人体探求』をテーマに自費出版を計画している。志賀直信氏は、昔から滅私奉公の人で、いつも幹事役を引き受けているが今回も名簿作りから始まり、計画、交渉、エクスカーションの「縄文文化センター」とすべてお世話になった。感謝に堪えない。愛犬との散歩が健康の秘訣という。敷中博氏は、種々の楽器を用いての演奏ボランティア、各種スポーツ、囲碁さらにそば打ちと、学生時代の单一の射幸遊戯の人から多趣味人へと著しく変貌を遂げている。下村成昭氏は、昔から静かな雰囲気を身に纏(まと)っているが、意外や邦画『Shall we ダンス?』の主人公の如く社交ダンスを楽しむ紳士である。高越哲男氏は、一年の殆どを土の上で作物を育てて暮らしているが、最近は宇宙の果てとは何かに思考を飛ばす農業学者である。山内暎平氏は、本学水産学部長を始めとして愛媛大学南予水産研究センター長として、さらに岩手大学客員教授として三陸水産研究センターにおいて、産学官の連携に奔走し、現在は金沢大学客員教授として環日本海域環境研究センターにおいて最後のご奉公の身だという。渡辺喬氏は、仕事で漁師さんと毎日、交流を深めてきたことから浜言葉を日常の会話の如く自由に操(あやつ)る。人気者たる由縁である。現在は『本朝(ほんちょう)二十四孝(にじゅうしこう)』よろしくご高齢のご母堂に献身的に尽くしておられる。

今回は欠席であったが、便りをくれたのが以下の13名である(順不同、敬称略)。高橋延昭、児島修治、澤田満、中川義彦、中島貢、橋爪政男、瀬川幸子、工藤明彦、上林道夫、大西治雄、大友時夫(しもつけ文芸賞に輝いた詩が披露された)、中山清一、佐々木達。なお、元気であると間接的に連絡を頂いたのが、田中毅、山田毅、岡田鳳二の3名。

物故者:来嶋藤夫氏 佐藤茂氏 佐々木裕己氏
渥美一興氏 安楽(井上)博子氏

なお、来年からこの会は規模を縮小して札幌で開催する方向で話が進んだ。

卒後五十年を経て、外見は髪の毛の減少や体脂肪の腹部への増加が見られた。しかしながら、これらは量の問題であって質の問題ではない。したがって、その心意気や何も変わらず「行くや万里の荒波超えて~」である。

北水同窓会茨城県支部総会を開催

別井 一栄(昭50ギ)



前列左から 仁平、大沢、渡辺、山崎、山根、根岸
中列左から 田中、高島、別井、東、根本、大川、
後列左から 高橋、関根、横山、水谷、外山の各氏

令和元年11月23日、2年ぶりの支部総会が開催されました。

そば降る雨の中、総勢17名が会場である水戸駅前三の丸ホテルに県内各地から集合しました。山崎耿二郎支部長(昭40ゾ)開会あいさつの後、渡辺副支部長(昭47ゾ)司会の下、山崎支部長が議長に就任し会議を進行した。議題は役員の改選であり、新支部長に渡辺一夫前副支部長、副支部長に別井一栄前幹事長(昭50ギ)、幹事長に大川雅登氏(昭53ギ)、幹事には根本孝(昭63ゾ)、久保田次郎(平2ギ)、東 剛己(平6化)、横山耕平(平18生)の各氏を推薦する執行部提案が異議なく承認されました。総会議事は滞りなく終了。

その後、山根爽一氏(昭43ゾ)の乾杯の発声により盛大なる懇親会に入りました。出席者全員から自己紹介、学部志望の動機、学生時代の思い出や現在の状況などが披露され、また、来年の東京オリンピックで

のマラソン会場に本学構内が活用されるのではないかななどといった話題で盛り上りました。各テーブルではそれぞれ話題が付きませんでしたが、予定の時間も近づき、全員スクラムを組み、根本幹事の音頭により、前口上の後水産放浪歌を、そして最後に「都ぞ弥生」を高らかに斉唱し終了の運びとなりました。今年は若手の参加者が増え、年配の同窓は活力をもったようで、2年を開けず毎年やれとの声も上がり、名残を惜しみつつ和氣あいあいのうちに散会しました。(有志の2次会もありました)

次回は2年後になるか来年になるかはまだ未定ですが、本文をご覧の茨城県内在住の皆様にはぜひご参加いただきたく、お願ひいたしまして筆をおきます。

(参加者名)

山崎耿二郎(昭40ゾ)、山根爽一(昭43ゾ)、大沢直幸(昭47ギ)、渡辺一夫(昭47ゾ)、二平 章(昭48ギ)、別井一栄(昭50ギ)、根岸正美(昭50化)、高島葉二(昭51ゾ)、田中弘太郎(昭52ギ)、大川雅登(昭53ギ)、根本孝(昭53ギ)、東 剛己(平6化)、横山耕平(平18生)、高橋正和(平24博環)、外山太一郎(平28海生)、関根直樹(平28増生)、水谷宏太(平30海資)

昭和46(1971)年 水産学部入学同期会in新潟

上田 宏(昭50ゾ)



左より

金子 実、小野秀悦、村田秀樹、上田 宏、廣海十朗、窟寺恒己
山本雅照、谷村 篤、東 政史、渡邊良朗、大塚 修

昭和46(1971)年水産学部入学同期会が、新潟在住の大塚君が幹事となり、令和元(2019)年10月2日

～4日に新潟で開催されました。北は稚内からの東君・南は大阪からの山本君ら総勢11名が新潟駅に集合し、大塚車・村田車(千葉県流山から)・小野車(宮城県塩釜から)の車3台に分乗し、一日目は北方文化博物館(豪農の館)を見学し、月岡温泉ホテル泉慶に宿泊しました。二日目は、廣海君が抜けて10名になりましたが、小千谷の錦鯉の里および村上のイヨボヤ会館を見学し、瀬波温泉大觀荘に宿泊し、三日目に新潟駅・新潟空港で解散しました。卒業年度はバラバラで卒業以来の再開となった人たちもいましたが、会うとすぐに20歳前後の若者に戻り、札幌で出会い函館で寝食を共にした懐かしい日々を思い出し、旧交を温めました。

もともとこの会は、入学時の第二外国語がフランス語だった37組の仲間が中心となり、2011年に還暦前中後期会として函館で開催し、2013年に稚内、2015年に仙台、2017年に日光と、仲間を増やしながら2年毎に開催してきました。次回は、記念すべき入学後50年となる2021年の10月下旬～11月上旬に、思い出多き北大札幌キャンパスにおいて開催する予定です。入学同期の仲間にどのように案内するかはこれから検討しますが、参加を希望される方は上田 宏(hueda@fsc.hokudai.ac.jp)にメールして下さい。北大水産学部に同じ年に入学し、半世紀を経て再びお会いできることを楽しみにしています。

令和元年 北水同窓会長崎支部総会

渡邊 康憲(昭51化)

今年は全国各地で台風や豪雨災害が相次ぎ長崎も夏に大雨被害がありました。しかし11月24日、ローマ教皇フランシスコが来訪し世界平和へのメッセージを発信するという歴史的な出来事がありました。そのほぼ1週間後、11月30日(土)午後6時から長崎市浜口町のいけ洲居酒屋「むつくり」で令和最初の北水同窓会長崎支部総会が開かれました。皆さん多忙で参加者は地元の8人と、所用で来崎した東京在住の小野さんを加えた9人でした。皆さんと顔を合わせるのは1年ぶり。現在長崎支部会で把握している会員数は31人。今日の最年少は平成22年卒の蓮平さん。将来



前列左より

蓮平裕次(平22生科)、小野善浩(平7ギ)、渡邊康憲(昭51化)、
北里海雄(昭61ゾ)、市川 寿(平元博化)
後列左より
星野浩一(平元ゾ)、長江真樹(平3ゾ)、玄浩一郎(平元ゾ)、
河邊 玲(平6ギ)

のため若い方々の参加を募りたいものです。

会は幹事長の開会宣言のあと、筆者の支部長挨拶、会計幹事の会計報告・会員の近況報告と、形どおりに進められました。この中で今年4月、中根重勝会員(昭30エ)が函館で逝去されたとの報告があり、皆でご冥福をお祈りしました。中根先生は長崎大学に勤務され、長崎支部の黄金時代を長年にわたり支えて頂いた方です。

総会後懇親会に移り、歓談。自己紹介では皆さん雄弁に近況を話しました。今年は改元にちなみ星野幹事長が、文芸春秋に今年掲載された「天皇皇后両陛下123人の証言」の中から日本魚類学会会長を務められた尼岡邦夫先生による、上皇陛下が「日本魚類学会の一般会員」との寄稿を紹介してくれました。すると河邊会員が、秋篠宮が参加されるシンポジウムで講演する機会があり、懇親会で宮様のほのぼのとした家庭生活をうかがった経験を披露してくれました。ラグビー部OBの河邊会員からは北大ラグビー部が大学ラグビー選手権に初出場を果たした快挙についても紹介がありました。歓談の中で、NHK長崎で午後6時台の番組を担当している気象予報士の斎藤綾乃さんが水産学部OBらしいけど来年の支部会に声かけしてはいかがとの提案もありました。斎藤さんは今年4月、長崎に着任されたようです。番組の中で出身校を話したことから、私の高齢者テニスグループの

友人も知るところとなり、高齢者の皆さんの中でも、「感じがよい」「ことばが聞きやすい」「説明がわかりやすい」など、大変好評です。今後も活躍を祈ります。

会はいつものように「都ぞ弥生」と「水産放浪歌」の齊唱で終わりました。いつもと違うのは前口上が小野さんだったことです。小野さんは元北大応援団団長!その前口上は朗々として、詩吟のように胸に染み入り、見事なものでした。参加者一同、是非、来年も来て欲しいとお願いして、閉会となりました。

北水会庄内支部より

佐藤 洋(昭54ギ)



前列左から

井口雅陽(昭52ゾ)、村井太郎(昭50ギ)、佐藤 洋(昭54ギ)、
工藤充弘(平23生)
後列左から
猪口俊二(平4化)、前田恵美(平12水)
佐藤久哉(鹿児島大学水産学部56)

7月20日午後6時から、鶴岡駅前の寿司屋「彦右エ門」で9年ぶりに同窓会を開催しました。

ほんの20年前には、昭和一桁生まれが20人もいましたが、今は、10人程の会員となり、古株でも昭和50年卒という変わりようです。

6月18日の山形沖地震では、屋根瓦が崩れ落ちたり、石灯籠が倒れたり、池のコンクリートにヒビが入ったり、幸い人的被害はなかったものの震度6弱恐るべきです。

家族で五島軒のディナーを食べて来たとか、港内クルーズはよかったですとか、久しぶりに会って函館の思い出話に花を咲かせました。

北大進学相談会inおおさか 後の歓迎懇親会の報告

佐々木雅人(昭56化)



日時:10月6日(日)17:00 ~20:00 場所:大阪駅前
第2ビル2階北大会館会議室 出席者17名

大学から4名

高木 力教授(平元漁)、磯田 豊(昭63愛媛大工)
准教授、篠野 惠利香(修士2年)、

青木 南月実(学部2年)

同窓生13名

大野正浩(昭36製)、上田 稔(昭45化)、入江和彦
(昭45ギ)、藤田信良(昭48ギ)、田中文夫(昭50食)、
福井 滋(昭50食)、大村泰治(昭51食)、佐々木雅人
(昭56食)、大橋人司(昭56ギ)、楠山仁志(昭59ギ)、
中田邦彦(昭61食)、若林眞由(平修食)、櫻井遙平
(平19生)

※今年の北大進学相談会の状況

進学相談会は、12:00~16:00、梅田スカイビルウエスト10階で開催され、徐々に参加者も増えてきて、今年は、受験生の保護者も含めて約700名で過去最大であった。各学部別に受験生相談のブースを設けているが、今年も水産学部ブースに多くの受験生が訪れ高木先生、磯田先生は、対応に追われ休む時間が無い状況であった。篠野さん、青木さんの学生と話そうとのコーナーにも多くの受験生が訪れ、色々な質問をしていました。

進学相談会終了後、大学の皆様を懇親会場の北大会館に案内しました。

歓迎懇親会

17:00から懇親会は始まり、最初の乾杯に続き、少し飲食をしたあと、自己紹介を行いました。ただ、学部生の青木さんは、札幌に帰るため、自己紹介後に間

空に向かいました。自己紹介後、あちこちで話の輪が出来、大いに盛り上りました。大学院生の篠野さんは、来年の卒業後、実家のある大阪に帰り、就職も大阪に決まっているとの事で、卒業後は、北水同窓生として支部行事にも参加をお願いしました。磯田先生は、大阪府支部として初めてお会いしましたが、気さくな人柄で、参加の同窓生は楽しく話をすることが出来ました。高木先生からは、お土産と寸志を頂き、いつもながら大変気を使っていただき感謝する次第です。両先生には、進学相談会担当として休む暇も無くお疲れの中、最後まで歓迎懇親会に出席して頂き、懇親を深めることができました。

多くの方から差入れを頂きましたが、特に水産会社に勤務している大橋さんには、美味しい本マグロを大量に差入れして頂き、出席者全員が舌鼓を打ちました。

20:00まで、大いに飲み食べ話をしていましたが、最後に都ぞ弥生を齊唱しお開きとしました。来年にはより多くの同窓生が参加し、先生方、学生さんとの懇親を深めたいと願っています。

北水同窓会石川県支部懇談会開催

福嶋 稔(昭62ギ)



前列左より

魚住昭文(昭52ギ)、中道五郎(昭39ゾ)、高橋稔彦(昭39ゾ)、
池田裕司(昭49ゾ)

2列目左より

沢田浩二(平3ゾ)、福嶋稔(昭62ゾ)、河崎浩(昭55化)、
大目慶一(昭55ギ) 敬称略

昨年に引き続き、令和元年11月16日(土)午後6時半から、北水同窓会石川県支部懇談会が、石川県水産

会館内の漁協直営かがのと海鮮処「旬魚亭」にて開催されました。

昨年の懇談会で支部長に就任された池田裕司氏(昭49ゾ)の挨拶・乾杯で開宴し、参加者8名の近況報告などで宴席は大きく盛り上りました。

今回は残念ながら50代以上の会員のみの参加となりましたが、参加者の近況報告に加えて、各年代の学生時代の思い出話や札幌での同期会の報告など楽しく歓談することができました。

北水同窓会富山県支部総会

松村 航(平4ゾ)



前列左より

岡崎俊彦(昭45ギ)、竹澤野葉(平24増生)、川崎賢一(昭42セ)、木島登(昭33エ)、大畑育雄(昭45化)

後列左より

大場隆史(平11生)、山崎裕治(平5ゾ)、野沢理哉(昭53ギ)、松村航(平4ゾ)、中川修三(昭50ゾ)、内山勇(昭53ギ)、浜井昌志(昭62食)、大黒徹(昭62食)、大津順(昭62ゾ)

北水同窓会富山県支部総会が、令和元年9月21日(土)にホテルグランテラス富山「清風の間」(富山市)において開催されました。

富山県支部総会は3年ぶりの開催となり、出席者最年長の木島先輩(昭33エ)から最年少の竹澤さん(平24増生)まで、幅広い世代の同窓14名の方に参加いただきました。

総会は川崎賢一支部長(昭42セ)の挨拶で始まり、挨拶後すぐにビールの蓋を開けだすハプニングもありましたが、一時我慢していただき、事務局(松村)から会計報告、欠席会員の近況報告を行い、その後、皆さんお待ちかねの懇親会へと移りました。

懇親会は、川崎支部長の乾杯の発声で開会となり

ました。初参加の方もおり、自己紹介を兼ねて近況報告を行いましたが、一人一人が比較的長い時間お話をいただき、楽しく盛り上がった時間を過ごしました。今回は、参加人数がやや少なかったのですが、一つのテーブルを全員で囲むこととなり、幅広い世代の方々と楽しく語り合うことができました。中締めとして、全員が肩を組み、岡崎先輩(昭45ギ)の前口上で「都ぞ弥生」を大合唱し、最後に全員で記念写真を撮り、閉会となりました。

北水同窓会広島県支部会'18 報告

中山奈津子(平15海)



前列左から

羽原浩史(昭55化)、中山奈津子(平15海)、森岡泰啓(昭38ゾ)、後列左から

伊藤 淳(平22ゾ)、石田実(昭57ゾ)、長谷川昭雄(昭52ギ)、永井達樹(昭48修漁)

報告が遅れましたが、北水広島県支部会は例年通り平成30年も支部会を行いました! 平成30年11月10日(土)の午後4時から、北水同窓会広島県支部会'18をJR広島駅ビル内のビヤダイニング広島ライオンにて開催いたしました。

羽原支部長の挨拶および乾杯の音頭で開宴し、支部活動についての報告や参加者7名の近況報告の後、伊藤 淳 氏(平22増殖、広島県北広島町議会議員)による講演を聴講しました。伊藤氏は最年少でありながら既に様々な経歴を持ち、①教育に関して「人を育てる上で一番大切なことは.....褒め?しつけ? マニュアル?放任?」、②防衛に関して「ニュースと真実~防衛学の観点から~」、③町議に関して「町議にできることは高が知っている?!』及び懇親など、ご自身の

豊富な経験から得た疑問や教訓を3つのストーリーに分けて、熱く語っていただきました。その後、わが国水産関係教育・試験研究機関の成立の歴史や、今年初参加の長谷川昭雄（昭52ギ）氏による自己紹介などで非常に盛り上がり、杯を重ねるとともに明日への英気を養いました。

次年度も同時期に開催すること、次回の設営と会計担当者、話題提供者（題未定、森岡泰啓（昭38ゾ））などを決めて、閉会となりました。

北水同窓会宮城県支部 令和元年度総会が11月30日（土）に ホテル白萩（仙台市）において開催

稲田 真一（平15海）



左から1列目

佐々木久雄（昭47ゾ）、石井達雄（昭45ギ）、安藤省吾（昭32セ）、藤本俊彦（昭24セ）、半田礼三（昭38セ）、

落合時三郎支部長（昭49ギ）、北川大二（昭49ギ）

2列目

稲田真一（平15海）、高橋清孝（昭49ゾ）、永倉一徳（平3ゾ）、濵谷和明（平25資化）、敷中博（昭44ゾ）、村上誠一（昭50ギ）、山岡茂人（昭54ゾ）、飯川斉（平3法学部）

3列目

伊藤貴（昭62ゾ）、菊地朋和（平8ゾ）

北水同窓会宮城県支部令和元年度総会が昨年11月30日に仙台市において開催されました。今回は19名の出席がありました。

小池幾世支部長（昭53ギ）から挨拶があり、事務局から平成30年度の収支決算、会則改正の議事が行われ、すべて了承されました。

総会終了後には、恒例の同窓生によるミニ講演会が行われました。今回は小池支部長から「海外サバの資源について」の演題で話題提供と、その他として稲

田真一（平15海）から令和2年9月27日に開催する「第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～について」の情報提供がありました。

懇親会では、石田信正先輩（昭32ゾ）の乾杯の音頭で開会となり、例年通り各出席者から近況報告が行われました。

今年も同窓会最高齢となる藤本先輩（昭24セ）の元気なお顔を拝顔でき、また、仕事は抜きにして今後の水産業について真剣に議論を交わすなど、楽しいひとときを過ごしました。

また高橋清孝先輩（昭49ゾ）からは、アメリカザリガニを効率的に捕獲する捕獲器を考案し、捕獲したザリガニは食材として販売・食べることで、捕獲活動費の負担を軽減する取組が紹介されました。本捕獲器は、北海道で問題になっているウチダザリガニにも有効であるとのことから、参加者は、若き日を過ごした北海道に思いを馳せながら、熱心に聞き入っていました。

最後に、今回ゲストとして参加頂いた法学部卒の飯川斉氏（平3法）の前口上で「都ぞ弥生」、稲田真一の音頭で「水産逍遙歌」を全員肩組んで歌い、来年度の再会を約束し散会となりました。



著書紹介 好評発売中

内 容

肺腺がん（肺がんの一種）が脳へ転移し「がん性髄膜炎」となった妻。そこから始まった、緩和ケア病棟での233日間におよぶ孤独な闘い——。患者や患者の家族が知りたい、症例の少ない「がん性髄膜炎」の病状を克明に記録するとともに、最愛の人との出会いから看取りまでを綴った、亡き妻への鎮魂歌。

書 名 瑠美子、君がいたから——

二人で歩んだ人生ノート

著 者 高井保秀 [たかいやすひで] 定 價 税込1,620円

出版社 亜璃西社（札幌市）ISBN 978-4-906740-38-3 C0095

著者プロフィール

1952年大阪生まれ。北海道大学水産学部卒（恵迪寮出身）。食品輸入商社で国内営業・外食事業部・総務人事部を経て取締役に就任。妻のがん発病を機に61歳で退社し、二人で闘病生活を歩んだ。本書は、大学の同期生である出版コーディネーターの尽力で刊行に漕ぎつけた。

□学位取得者

【令和元年6月取得】

篠岡友季穂 チョウザメ未利用部位由来コラーゲン・ペプチドの調製および血糖上昇抑制作用に関する研究

【令和元年9月取得】

Ledhyane Ika Purse seine fishery management in Malaysia: an output control for sustainable fisheries
(マレーシアにおけるまき網漁業管理:持続可能な漁業のための産出量規制)

Khuu Thi Phuong Dong Towards implementation of traceability for shrimp supply chain in Vietnam: economic analysis and global trade potential consideration
(ベトナムにおけるエビ供給連鎖へのトレーサビリティ導入に向けて:経済分析と国際的貿易潜在力の考察)

高橋 卓 日本海富山湾とその周辺海域における浮遊性小型カイアシ類ノープリウス幼生に関する生物学および生態学的研究

孟 大威 Studies on the efficient utilization of belter sturgeon by-products
(ベステルチョウザメ由来廃棄物の有効利用)

吉岡 智史 卵黄のこくに寄与する脂質成分の探索と簡易分離方法の検討

【令和元年12月取得】

李 成澤 Phylogenetic and molecular biological study of nitrogen transporters in Bangiales (Rhodophyta)
(原始紅藻類における窒素トランスポーター系統的および分子生物学的研究)

□会員異動

○平成31年4月1日付 採用・異動等

米山 和良 水産科学研究院准教授に昇任

富安 信 水産科学研究院助教に採用

○令和元年11月1日付 採用・異動等

工藤 秀明 水産科学研究院教授に昇任

宗原 弘幸 北方生物圏フィールド科学センター教授に昇任

会員死亡通知

小林 大助	(昭18ヨ)	平成27年頃	ご家族様より
神山 茂郎	(昭19セ)	令和元年11月21日	四方 純(昭43食)様より
小松 邦敏	(昭20ギ)	不明	ご家族様より
船田 重夫	(昭22ゾ)	令和元年 6月16日	ご家族様より
稻見祐四郎	(昭22セ)	平成27年 2月 8日	ご家族様より
山形 實	(昭23ギ)	令和元年 9月20日	青森県支部様より
鈴木 正則	(昭23エ)	平成31年 4月10日	ご家族様より
小南 武朗	(昭23セ)	平成29年 7月10日	ご家族様より
伊丹 宏三	(昭23ゾ)	令和元年 9月 2日	ご家族様より
今 力	(昭24ギ)	令和元年 5月17日	ご家族様より
鈴木 旭	(昭24ギ)	令和元年11月12日	米田国三郎(昭40エ)様より
山口 藤市	(昭24ギ)	令和元年 5月	ご家族様より
太田 昌光	(昭24ゾ)	平成24年	ご家族様より
真田 幸雄	(昭25セ)	平成31年 1月20日	ご家族様より
中村 達彦	(昭25セ)	令和元年 6月17日	ご家族様より
松川 光美	(昭25セ)	10年前頃	杉山 繁(昭25セ)様より
渡部 盛雄	(昭25セ)	令和元年 5月17日	ご家族様より
荒井 榮一	(昭26ギ)	令和元年 5月10日	ご家族様より
佐藤 定夫	(昭26ギ)	令和元年 8月15日	ご家族様より
高村 亮一	(昭26セ)	平成29年 6月26日	ご家族様より
白野 仁	(昭28ゾ)	平成30年11月10日	ご家族様より
山下 正徳	(昭28ゾ)	平成30年 2月17日	ご家族様より
金本 慎郎	(昭29セ)	平成31年 4月 3日	ご家族様より
渡部 一男	(昭29セ)	令和元年 7月12日	ご家族様より
倉崎 勇治	(昭30エ)	令和元年 7月	ご家族様より

会員死亡通知

松田 正 (昭30工)	平成28年	ご家族様より
渡部 瑞夫 (昭30工)	平成29年10月30日	坂井 美久(昭30ギ)様より
畠山 和穂 (昭30セ)	令和元年 8月 9日	宮城県支部気仙沼地区様より
平山 真二 (昭30セ)	令和元年 8月19日	ご家族様より
金石 英治 (昭34セ)	平成30年 1月15日	ご家族様より
舛屋 広一 (昭34セ)	令和元年11月 7日	漆畠 信昭(昭34工)様より
崔 和宰 (昭34ゾ)	平成26年 2月	小笠原惇六(昭38エ)様より
向田 勝年 (昭41セ)	平成31年 4月11日	ご家族様より
渡邊 準 (昭41セ)	令和 2年 1月29日	札幌支部様より
深尾 雅志 (昭42工)	令和元年 8月 5日	ご家族様より
小池 幹雄 (昭43ギ)	平成31年 1月26日	大井 久雄(昭43ギ)様より
田村 宣征 (昭43ギ)	平成29年 6月 2日	ご家族様より
島竹 穀一 (昭43化)	令和元年 8月26日	辻 昌巳(昭43食)様より
富久尾 肇 (昭43化)	令和元年 7月	ご家族様より
中井 俊雄 (昭43食)	令和元年12月10日	熊谷 克彦(昭43食)様より
高見沢信正 (昭45ギ)	平成30年 8月16日	ご家族様より
三上 升 (昭50化)	平成30年 6月30日	ご家族様より
渡辺 一俊 (昭51ゾ)	令和元年 9月19日	山田 陽巳(昭58ゾ)様より
内山謙士郎 (昭52食)	令和元年 8月14日	ご家族様より
横山 健一 (昭53ギ)	令和元年 6月	梶原 善之(昭53ギ)様より
土谷 政志 (昭54ギ)	平成31年 3月 9日	広崎 淳一(昭55ギ)様より
纁纁 義和 (昭57ギ)	平成29年 5月	ご家族様より
山西 仁 (昭60ゾ)	平成30年11月 5日	佐藤 伸治(昭60ゾ)様より
岩崎 裕之 (昭62ギ)	平成30年	札幌支部様より

親潮投稿規定

【寄稿、支部・会員便り、会員の受賞、ご案内など】

一つの投稿につきA4版・1ページ(2000字程度)までとする。この制限以上の長文あるいは連載を希望される場合は2号分までとする。写真を入れる場合、その分の文字数が減る。また写真はホームページに掲載することもできる。原稿は、同窓会宛に封書で郵送するか、同窓会のメール宛に送付することとする。

【同窓生の声】

各種活動や出版物の告知・紹介、本誌への感想など。個人的な連絡は対象とせず、1記事につき300字以内。同窓会あてのメール(hokusualumni@gmail.com)にて受け付けます。写真は入れられません。

〔編集後記〕

今年度から編集担当幹事を拝命いたしました。粗相があるかもしれません、北海道のような広いところで失礼の段、ご容赦下さい。さて、本誌312号の特集(北水の今)に引き続き、今号の特集「北水の今2」として、最近2年間(2018年4月以降)に採用されたあるいは312号発行時に都合がつかなかった活きの良い助教の先生方を紹介させて戴くこととしました。執筆いただいた6名の先生方に、この場を借りて篤く御礼申し上げます。また、表紙のおしょろ丸絵画の撮影にご協力いただいた、大槻真友子博士に感謝致します。なお、表紙左上の絵画(おしょろ丸2世)の作者は不明となっております。お心あたりのある方は、同窓会事務局まで情報を寄せていただきますよう、よろしくお願い致します。

各種行事開催報告として、北大の同窓生が集う「北海道大学ホームカミングデー2019水産学部卒業生・在校生の集い」の開催の模様を掲載しております。是非とも内容をご覧ください。また、2020年5月30日に函館市で第100回北水同窓会定期総会が開催されます。総会の詳細および参加申込書を掲載しております。会員の皆様、今回は記念すべき定期総会です。奮ってご参加いただきますようよろしくお願い致します。

次年度第1号(通算315号)の原稿の締め切りは、2020年7月10日(必着)とさせていただきます。寄稿につきましては、郵送もしくは電子メール(hokusualumni@gmail.com)にて受け付けております。その他、支部報告や同期会報告、著者の紹介など、多くの原稿をご投稿下さいようお願い申し上げます。なお、親潮では同窓の方々の交流形態として「同窓生の声」の広場を設けております。また、本誌に対するご意見やご感想なども募集しております。詳しくは投稿規定をご参照ください。

また、支部総会や同期会の開催時の写真や開催案内を北水同窓会のホームページ(<http://Hokusui.net/>)にて掲載しておりますので、是非ご覧ください。

編集幹事／中屋 光裕(平11生)

令和2年3月発行

北水同窓会

〒041-8611 函館市港町3-1-1

TEL & FAX.0138-42-3681

E-mail:hokusualumni@gmail.com



つるはち

株式会社 釣八

URL <http://www.tsuru8.co.jp/>

よく間違えられますが、「つるはち」って読みます。

社長の名前が「つるみ」だから。

世界中の海から、イカ、赤魚、サバ等なじみのある水産物を、

いま、求められるかたちにして、お届けできるように奮闘努力刻苦勉励

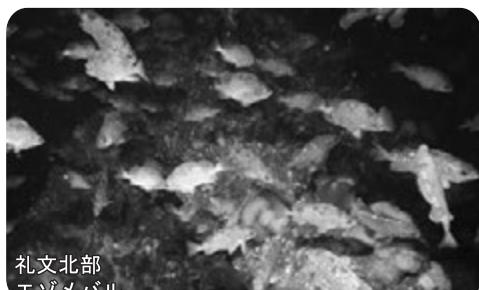
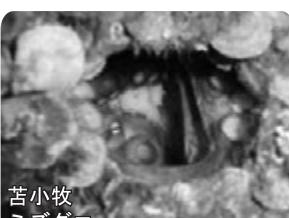
代表取締役社長 釣見 泰之(昭和59年 漁業学科卒)

【水産学部卒業社員】 土井 倫行(昭和60年卒) 奥田 和人(昭和60年卒)

本社

〒104-0042 東京都中央区入船3-8-7 ザ・ロワイヤルビル2F
TEL03-3297-8883 FAX03-3297-8885

八戸支店	〒031-0082 青森県八戸市常海町13-2 サンデュエル内丸1203	TEL 0178-71-3488
銚子支店	〒288-0051 千葉県銚子市飯沼町186-93 八木友ビル2F	TEL 0479-25-8822
大阪支店	〒550-0015 大阪府大阪市西区南堀江3-14-12 イイダビル2-2A	TEL 06-6532-8886
福岡支店	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-18-28 フクオカビル7F	TEL 092-401-8828
関連会社	築地:(株)釣十(マグロ仲卸) 中国:大連釣八(水産物加工) アメリカ・ロスアンジェルス:フィッシングエイト タイ・バンコク:釣八タイランド	



人工魚礁による水産資源の保護・増殖に貢献します
海洋土木株式会社

〒142-0043 東京都品川区二葉2-1 1-5

代表取締役 木實谷浩史 (54才)

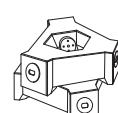
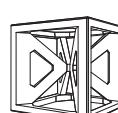
青森営業所長 山口伸治 (49才)

取締役副社長 石井直志 (49才)

北陸営業所長 魚住昭文 (52才)

専務取締役 幡宮輝雄 (57才)

札幌支店部長 日和久典 (平6才)



函館竹田

食卓に函館の味を



**株式会社
竹田食品**

代表取締役 竹田寿広

本社工場 函館市浅野町3番10号
TEL (0138) 43-1110(代) FAX (0138) 43-1113

札幌営業所 札幌市中央区北13条西19丁目1番1号
(水産保冷配達センター3F)
TEL (011) 623-0990 FAX (011) 644-9910

竹田食品販売(株) 東京都中央区築地7丁目5番3号(紀文第一ビル2階)
TEL (03) 6226-6820 FAX (03) 3545-2135

竹田食品販売(株) 大阪府大阪市淀川区西中島4丁目3番5号
(NLCセントラルビル5階)
TEL (06) 6307-5311 FAX (06) 6307-5358



交通事故、労働災害、医療過誤、倒産、債務整理、サラ金破産
個人再生、未払い残業代請求、離婚、相続、遺言、成年後見

相談料は全て無料です

吉原法律事務所

札幌弁護士会 弁護士 吉原美智世
(昭和48年増殖学科卒業)

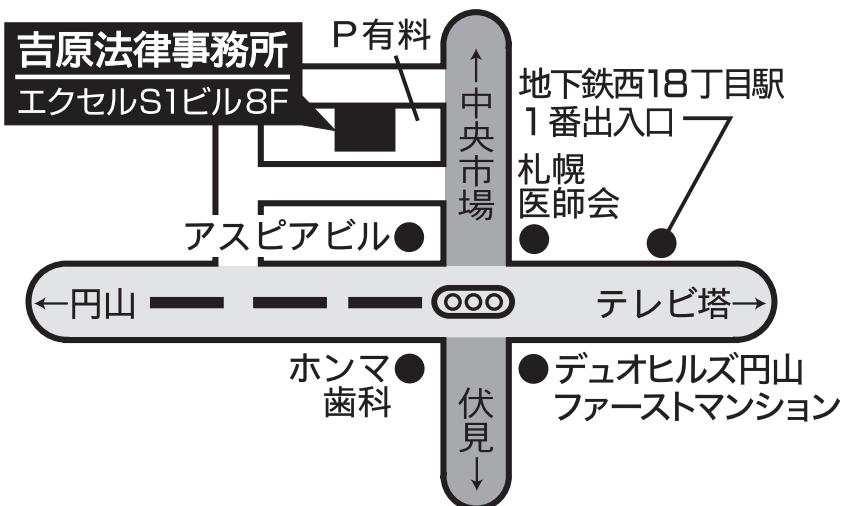
お気軽にお問い合わせ下さい

TEL 622-7963 FAX 622-8414

札幌市中央区大通西20丁目2-20(エクセルS1ビル8F)

(交通)東西線西18丁目地下鉄1番出口

(E-mail) lawyer@yoshihara-lawoffice.jp



営業時間においでになれない方はご相談下さい。